



2015 DIJON Racing SUPER GT RACE REPORT

FUJI GT 300KM RACE

開催日時 : 2015 年 8 月 8 日～9 日
 開催地 : 富士スピードウェイ (静岡県)
 ドライバー : Takamori 博士 / 田中勝輝
 マシン名 : DIJON Racing GT-R (日産 GT-R GT3)
 参戦クラス : 2015 年 SUPER GT SERIES / GT300 クラス

天候 : 予選 / 晴れ
 決勝 / 晴れ
 路面 : 予選 / ドライ
 決勝 / ドライ
 入場者数 : 予選 / 20,400 人
 決勝 / 36,400 人

練習走行 : クラス 25 位 (1 分 40 秒 877)
 予選 Q1 : クラス 21 位 (1 分 39 秒 620)
 予選 Q2 : ---
 フリー走行 : クラス 14 位 (1 分 40 秒 800)
 決勝 : クラス 14 位 (59 周)

DIJON
Racing

inoki
MTSUNAGA
 GROUP
 h Dental office
ENDLESS

Cure
 Album Planer
IBRIDA CELL
NILZZ
 Racing Factory
POWER STATION

アーツ銀座
 クリニック
KTEL
PINS
 FACTORY®
 NISSAN nismo
 NISSAN GT-R NISMO GT3
 Customer Racing

CKK
TAKATA
 ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS



2015 年の SUPER GT シリーズもいよいよ折り返しを迎えたシリーズ第 4 戦『FUJI GT 300KM RACE』が静岡県
富士スピードウェイで開催。今期 2 回目となる富士スピードウェイでのレースは夏休み期間という事もあって二日間で
56,800 人も多くのファンが富士スピードウェイに詰めかけた。

国内屈指の高速サーキットである富士スピードウェイで行われる第 4 戦はレース距離が 300km と短いためスプリント
レースの様相が強いレースである。

そのためスタートからフィニッシュまで息の抜けない緊張したスプリントバトルが随所で展開される。

前戦タイラウンドを欠場した DIJON Racing は第 2 戦富士大会以来、実に 3 ヶ月ぶりのレースとなる。DIJON
Racing は今回の第 4 戦に二台の NISMO GT-R GT3 をエントリーした。48 号車は、Takamori 博士と田中勝輝の
レギュラードライバー 2 名での参戦となり、今回からマシンのカラーリングは鮮やかなピンク色に大幅に変更された。

8 月 8 日 (土曜日) 公式練習

朝から青空の広がった富士スピードウェイ。朝から強い日差しが照りつけ、気温も 37℃を超えた。

8 時 50 分から行われた公式練習は Takamori 博士が乗り込みマシンチェックを兼ねて連続 7 周の計測を行った。

今回から BoP (性能調整) が変更されたためターボブースト圧が低下したが、極端な影響を受ける事もなく、若干パワー
感が少なくなる程度で予選に向けて順調にマシンを仕上げていった。

DIJON
Racing

inokiki
MITSUNAGA
GROUP
h Dental office
ENDLESS

Cure
Album Planet
IBRIDA CELL
NILZZ
Racing Factory
POWER STATION

アーツ銀座
クリニック
KTEL
PINS
FACTORY®
NISSAN **nismo**
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS



8月8日(土曜日) 予選 Q1

午後に行われた公式予選 Q1 セッション。上空には雲がかかり気温 28 度、路面温度 35 度と過ごしやすいコンディションとなる。予選 Q1 開始と共に田中勝輝がコースイン。タイヤを慎重に暖めて 2 周後にアタックラップに入る。しかし、アタックラップ中に他車のトラブルによる赤旗が提示されピットインする事に。

仕切り直しとなった田中勝輝は予選 Q1 再開後直ぐにコースインしアタックを再開。序盤に 1 分 40 秒 015 をマークして GT300 クラス 3 位につける。更に翌周には 1 分 39 秒 620 までタイムを短縮する。しかし、タイヤのピークは超えているため、更にタイムアップを狙いたいがチームの指示で決勝レースを考えて予選アタックを終了させた。

僅差で順位が入れ替わっていく中、セッション終盤にはライバル勢のタイムアップもあって、この予選 Q1 セッションは GT300 クラス 21 位となり、Q2 セッション進出は果たすことはできなかった。

8月9日(日曜日) フリー走行

いよいよ迎えた決勝日。9時35分よりフリー走行が行われた。このフリー走行は Takamori 博士がドライブ。走行開始後、直ぐに 1 分 40 秒 800 をマークし、GT300 クラス 6 番手のタイムを叩き出して仕上がりの良さをアピールする。

セッション終盤には田中勝輝も決勝セットアップの確認のためコースイン。マシンのバランスを調整するだけの走行でタイムアップは果たさず、結局このセッションは Takamori 博士のマークしたタイムがベストタイムとなり、GT300 クラス 14 位となった。

DIJON
Racing

inoki
MTSUNAGA
GROUP
h Dental office
ENDLESS

Cure
Album Planer
IBRIDA CELL
NILZZ
Racing Factory
POWER STATION

アーツ銀座
クリニック
KTEL
PINS
FACTORY®
NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS



8月9日(日曜日)決勝レース

夏の猛暑を避けるべく従来のスタート時刻よりも1時間遅い15時00分スタートとなる第4戦。太陽が傾き出す時間ではあったが、前日の予選日とは打って変わって強い日差しの下、気温38度、路面温度48度とまだまだ厳しい状態。今回のスタートドライバーはTakamori博士。観客36,400人が見守る中、パレードランとフォーメーションラップを経て、15時07分にシリーズ第4戦がスタート。

大きな混乱に巻き込まれることなく無難にスタートを決めたTakamori博士は、持ち前のクレバーな走行で順位を上げていくことを期待されたが、スタートして直ぐにマシンにはエラーメッセージが点灯する。

これによりTakamori博士はマシンの状況を確認するためにペースを落としての走行を余儀なくされる。

Takamori博士は走りながらMOTECページをスクロールさせマシンの物理的な数値をピットへ無線報告する。チーム側での分析でマシンに大きな異常がないと判断し、Takamori博士へペースを戻すよう指示する。

一時は26番手まで順位を落としたTakamori博士だったが、レース中盤には10位まで浮上してきた。

レース距離のおよそ半分となる31周を終え、Takamori博士がピットイン。タイヤ交換、給油作業を行い、田中勝輝にステアリングを託した。

田中勝輝のドライブでチェッカー目指してコースに復帰したDIJON Racing48号車。

レースも終盤を迎えるにつれて、コース上は他車のアクシデントによるカーボンパーツやタイヤカスで非常に荒れた状態。落下物やアクシデントで大きく後退していくライバル勢も多い中、田中勝輝は堅実に周回を重ねて順位をあげていく。

決勝レースがスタートしてから1時間44分が経過。

DIJON Racing48号車は59周を周回し、GT300クラス14位でチェッカーフラッグを受けた。

DIJON
Racing

inoki
MITSUNAGA
GROUP
h Dental office
ENDLESS

Cure★
Album Planner
IBRIDA CELL
NILZZ
Racing Factory
POWER STATION

アーツ銀座
クリニック
KTEL
PINS
FACTORY®
NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS



次戦の SUPER GT 第 5 戦は 3 週間後の鈴鹿で開催されます。

通常レース距離の 3 倍以上を走るシリーズ最長のレース距離 1000Km の戦いとなる『第 44 回インターナショナル鈴鹿 1000km』は、気温／路面温度も高く、真夏の 1000km として世界に知られる非常にタフなレース。

DIJON Racing は 48 号車に Takamori 博士、田中勝輝、柴田優作の 3 名体制で参戦致します。

引き続き、皆様の暖かい御声援を賜りますよう、よろしくお願い致します。



DIJON
Racing

inokiki
MTSUNAGA
GROUP
h Dental office
ENDLESS

Cure★
Album Planer
IBRIDA CELL
NILZZ
Racing Factory
POWER STATION

アーツ銀座
クリニック
KTEL
PINS
FACTORY®
NISSAN **nismo**
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS